

各位

**総額15億円のシリーズBファイナンスを実施**

C4U株式会社（以下「C4U」といいます。）は、今般、第三者割当増資により、総額15億円のシリーズBファイナンスを実施いたしましたのでお知らせいたします。

本シリーズBラウンドでは、2021年に実施したシリーズAラウンドに続きDCIパートナーズ株式会社が運営する大和日台バイオベンチャー2号投資事業有限責任組合がリード投資家となり、ニッセイ・キャピタル12号投資事業有限責任組合、三菱UFJライフサイエンス4号投資事業有限責任組合、JICベンチャー・グロース・ファンド2号投資事業有限責任組合、みずほライフサイエンス第1号投資事業有限責任組合、国立研究開発法人科学技術振興機構及びSMBCベンチャーキャピタル7号投資事業有限責任組合の、新規投資家4社を含む計7社が参加しています。

これにより当社が調達した額は、累計26億円強となります。

**【資金調達の目的】**

C4Uは、国産のゲノム編集技術であるCRISPR-Cas3を基盤技術とし、2018年3月に設立された大阪大学発のバイオベンチャー企業です。CRISPR-Cas3技術は、C4Uの創業メンバーである東京大学医科学研究所先進動物ゲノム研究分野の真下知士教授、大阪大学微生物病研究所の竹田潤二招へい教授らの研究成果を基に開発されたCRISPR-Cas3を用いた新しいゲノム編集技術です。

CRISPR-Cas3技術は、オフターゲット変異が少なく安全性が高いことやゲノム中のターゲットとその上流を比較的大きく削ることができるといった特徴を有し、現在世界中で研究が先行しているCRISPR-Cas9の複雑な特許状況に影響されない、これに対抗し得る有望なゲノム編集技術として注目を浴びています。

C4Uは、このCRISPR-Cas3技術を用いて、遺伝性疾患のみならず、遺伝子を改変した細胞を用いた治療等による様々な疾患に対する新規の治療法等の開発に加えて、同技術のプラットフォーム展開により提携先における同様の治療法の開発を推進しています。また、医療応用のみに留まらない、様々な産業分野への応用も進めております。

2021年のシリーズAラウンド以降、自らの研究開発体制を強化することで、自社パイプライン及びCRISPR-Cas3技術の確立と改良が進み、その成果をもって複数の提携契約・共同研究契約を開始しました。

この度の調達資金を、更なる研究開発体制の強化と事業の促進に投資することで、CRISPR-Cas3技術のユーザビリティを向上させ国内外へのプラットフォーム展開を一層加速するとともに、自社パイプラインの開発を進めてまいります。

### 【第三者割当増資 引受先】

- ・DCIパートナーズ株式会社が運営する「大和日台バイオベンチャー2号投資事業有限責任組合」
- ・ニッセイ・キャピタル株式会社が運営する「ニッセイ・キャピタル12号投資事業有限責任組合」
- ・三菱UFJキャピタル株式会社が運営する「三菱UFJライフサイエンス4号投資事業有限責任組合」
- ・JICベンチャー・グロース・インベストメンツ株式会社が運営する「JICベンチャー・グロース・ファンド2号投資事業有限責任組合」
- ・みずほキャピタル株式会社が運営する「みずほライフサイエンス第1号投資事業有限責任組合」
- ・国立研究開発法人科学技術振興機構
- ・SMBCベンチャーキャピタル株式会社が運営する「SMBCベンチャーキャピタル7号投資事業有限責任組合」

### <用語の解説>

**ゲノム編集技術**：DNA切断酵素と人工的にデザインしたRNAなどを細胞に導入し、ゲノムの局所を選択的に切断、改変する技術です。

**CRISPR-Cas3**：CRISPR-Cas9同様に二本鎖DNAを切断しますが、crRNA（ガイド）認識配列が長い（27塩基のガイド配列）ことから、特異性が高く、オフターゲット変異（狙った部分以外の変異）が少ない、より安全なゲノム編集ツールです。また、大きな欠失を起こすことも可能なため、遺伝子の改変に加えて機能を失わせることも得意としています。

**CRISPR-Cas9**：現在広く利用されるゲノム編集技術の一種で、Cas9がガイドRNAと結合し、ガイドRNAの一部（20塩基のガイド配列）と相補的なDNAを選択的に切断します。ガイド配列を変更することにより、様々な塩基配列をもつDNAを選択的に切断することができます。

<本件に関するお問い合わせ先>

C4U株式会社 管理部  
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2番8号  
TEL：06-6369-7180  
E-mail：[info@crispr4u.com](mailto:info@crispr4u.com)

以上